

テーマ：授業で図書館を使いこなす！ ー大阪市立大学での実践例ー

講師：大阪市立大学教授 井上浩一氏

日時：平成 21 年 12 月 1 日(火)14 時～16 時

場所：鹿児島大学大学院連合農学研究科会議室

参加者：41 名

講演内容

要旨は以下のとおり。(当日配布資料に基づく)

○前提

1990 年代初頭ぐらいまでは、学生にレポートの書き方を教えなくても、見よう見真似で書けるようになっていたが、90 年代に入って学生の質が変化し、放っておいたらレポートが書けない学生がいた為、当時の 1、2 回生の教養課程の講義「西洋史」(通年 4 単位)の講義でレポートの書き方、図書館利用法を多少教えるようになったことが、一連の動きとなった。

○学術情報総合センターの誕生

現在の大阪市立大学には図書館という名称ではなく、学術情報総合センター(略称:学情)という市大の中で、最も立派な建物になっている。1996 年 10 月に学情が完成したが、以前はデータベース化されてなくカードで資料を探していた。また、開架スペースが狭い為ほとんどの本は書庫にあったが、学生は書庫にも入れないなど、かなり遅れた図書館であったが、この学情が出来た事で一変した。市大のほぼ真ん中に、地上 10 階、地下 3 階、延べ床面積 37,000m²ほどあり、おそらく全国一の大学図書館になった。300 億円以上の建設費がかかっており、学情のことを「バブルの塔」とも呼んでいる。

○(文系の)大学教育は、ゼミと図書館に尽きる

初学年を主な対象としたレポート作成、図書館の利用指導を行なった経験から、学生が自主的に図書館を利用して調べ、それをゼミで発表して論文になり、レポートが書ける。この反復練習こそが、文系大学教育の根底だと経験上痛感した。初学年のそうした事が出来るための基礎的な技術を教えることが必須だと思える。

○レポート作成指導の軌跡

「西洋史」(94 年からは半期の講義になり、「西洋史の見方」に講義名も変更)の講義の中で、レポート作成と図書館の利用指導を行ない始めた頃、図書館を使ったことのない学生もいた。当時は、「レポート作成の手引き」という冊子を配布して、レポート作成の基本を 1～2 コマ講義し、別に 1 コマ図書館職員に図書館の利用指導(カード目録検索、パソコン検索、

館内ツアー)をしてもらった。

学情が完成し 97 年から、「西洋史の見方」の中で学術情報総合センター実習を行なった。レポート作成の講義の後、実際に学情で学情職員から案内してもらった。またこの後、FD 研究会の前身となる大学教育研究会が発足する。

2001 年にその FD 研究会のメンバーが中心になり「レポート作成ガイド」を作成した。その後、FD 研究会での議論もあり、2004 年から 1 回生を対象とした「1 回生セミナー」(現・初年次セミナー)を開催することになる。現在では「初年次セミナー」と名前は変わったが、このセミナーにより学生の大学での学習の基礎がそれなりに身につけていることは明白で、「西洋史の見方」の講義で、セミナー開始以前よりも、「西洋史」そのものにより突っ込んだ講義が出来るようになった。

○問題点・課題など

課題としては、「初年次セミナー」の共通の教科書を作成する事が挙げられる。図書館員の協力が必要だが、今後、独立法人化の影響で、現存する優秀な図書館員がいなくなれば、現在のような「初年次セミナー」開催もできなくなるのでは、という危険がある。また、さらに大きい問題が、この初年次セミナーにほとんどの教員が参加しようとしなないことだ。現在、教員を出しているのが、大学教育研究センターの教員、文学部が 8 名と理学部が少しだけである。さらにこのセミナーの講座数も 2004 年の開始時に比べると現在減少している。原因は教員の数が少ないからである。独立法人化の影響で教員削減になり、各学部が専門教育で手一杯というのが実情で、今度のこのセミナーの継続について、大変危惧している。

質疑応答

活発な意見交換がなされた

(1) レポートの字数については指示しているか。また、時折。講義の最後にミニレポート(講義の感想、要約など)を書かせると言われていたが、字数を教えてください。

回答：レポートは対象が歴史で、事実をかなり記述しないといけないので、4,000 字程度を目安としているが特に指定はしていない。原稿用紙 1 枚や、20,000 字程書いて卒論かとも思えるものもある。ミニレポートについては、A5 用紙の 1 枚程度。

(2) 「初年次セミナー」の規模はどの程度か。

回答：ゼミ形式なので、大体 10 名～15 名ぐらい。「西洋史の見方」は年にもよるが、200 名～300 名ぐらい。図書館員からの協力は、館内案内、データベースや OPAC の利用説明、特に OPAC の利用については独特のクセ、特に検索する際のコツを詳しく学生に教えてもらっている。

(3) レポート作成を指導する上で、現在、それに関する本は山ほど出版されているが、それらの推薦とか一部利用とかはされているのか。

回答：レポートの書き方のような本で、いい本だと思える本については、講義中に推薦したりすることもある。